

にいざ ボランティアセンター だより

Noticia No.153

ノティシア：スペイン語で便り、お知らせ、情報の意味

ボランティアについて「知りたい・したい・求めている」方に向けて発行しています



令和6年5月1日

彩の国 ボランティア体験プログラム 「やってみたい」を「やってみよう」に!

彩の国ボランティア体験プログラムとは…

毎年夏休みを中心に、主に施設でのボランティア体験を実施しているボランティア体験プログラムです。

子どもから大人まで、誰もが気軽にボランティア活動に参加できるきっかけ作りとしてぜひこの機会に参加してみてください!!

ボランティア体験プログラムは、
5月から来年2月まで
実施しています。
7月、8月の夏休みに限らず
随時受付しています。
お気軽にご連絡ください。

ボランティア体験の流れ

問合せ 新座市社会福祉協議会ボランティアセンター
TEL048-480-5705

1. 参加申込み

- ↓
体験メニューから希望するボランティア活動を選択し、お申込みください。
申込後、ボランティアセンターで施設と日程調整をします。
※今年度の体験メニューに関しては、6月中旬にホームページに一覧を掲載予定です。

2. オリエンテーション参加

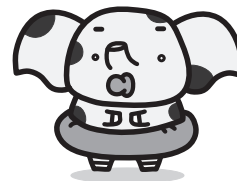
- ↓
7月に開催するオリエンテーションにご参加ください。ボランティア活動の内容や
注意事項の説明、ボランティア活動保険の加入手続をします。

3. ボランティア体験

- ↓
決定した内容でボランティア体験! 体調を整えて活動に参加しましょう。
いろいろなボランティア体験をして新しい発見をしよう!

4. アンケートの提出

ボランティア体験での学びを振り返って理解を深めよう!
アンケートを提出いただいた方には、参加証をお渡しします。



〈令和5年度の体験メニュー例〉

子ども：保育補助、子どもと交流、制作物の手伝い **高齢**：利用者の方のお話相手、利用者の方へのお茶出し、交流 **障がい**：畑での農作業、広報誌の配布、散歩の同行、作業サポート **地域**：サロン活動（お話相手、子どもの見守り、準備、片付けなど）

音訳ボランティア養成講座を開催します! (主催:音訳グループ花だいこん)

視覚障がい者の方の「目の代わり」となって、音訳（書いてあることを声に出して読む）活動をしてみませんか?一緒に広報紙の録音CDを作成しましょう!

日時: 令和6年**6月3日・10日・24日、7月1日**
 (全4回、全て月曜日)
 午後1時から午後3時まで (7月1日は午後2時30分まで)

定員: 10名程度 (申込順となります。)

費用: **無料**

場所: 新座市役所第三庁舎 (新座市社会福祉協議会) 大会議室

対象: 市内在住で全日程参加可能な方
 (受講後に音訳ボランティアの活動を考えている方)

申込み: 令和6年5月20日までに新座市社会福祉協議会ボランティアセンターへ
 電話・FAX・Eメールのいずれかでお申込みください。
 電話: 048-480-5705 / FAX: 048-481-3488
 Eメール: volunteer@niizashakyo.or.jp



「音訳グループ花だいこん」は、昭和52(1977)年5月、視覚障がい者福祉ボランティアとして活動をはじめ、視覚障がいのある方へ「広報にいざ」、「社協だより」を音訳し、CDにして届けています。

善意銀行のご報告 (令和6年2月~3月) ~皆様のご協力ありがとうございます~

下記のほか、使用済切手につきましては、社協・市役所・福祉の里・市内公民館等に設置している収集箱を通じ、市民の皆様から多数のご寄付を頂きまして、誠にありがとうございます。引き続き、皆様からの温かい善意をお待ちしています。



個人名・団体各氏名 (敬称略)	寄附内容
野寺支部	雑巾
十文字学園女子大学ボランティアセンター	使用済切手
和田 勇	お米
谷森 櫻子	使用済切手
新座市立大和田小学校PTA	使用済切手

氏名(敬称略)	寄附内容	氏名(敬称略)	寄附内容
匿名	未使用切手	匿名	紙おむつ
	使用済切手		尿取りパッド
	バスタオル		囲碁セット
	ハガキ		雑巾

新座市社協では、皆様からご寄付を頂いた使用済切手・書き損じはがきを「切手整理ボランティアひとみ会」に整理していただいた後、埼玉県深谷市にある養護盲老人ホームひとみ園に送付しています。ひとみ園では、各団体から送られてきた使用済切手等を収集家の方などに購入してもらうことで資金化し、施設整備等の費用の一部として活用しています。

善意銀行とは?

善意銀行は、使用済切手や雑巾、車椅子などの品物をお預かりし、必要とされている施設や個人の方への払出しをしています。「こんなものもあるんだけど」という方は、ボランティアセンターまでご相談ください。